

日本共産党

中央区議団ニュース

発行
日本共産党中央区議会議員団
中央区築地1-1-1
中央区役所9階
TEL 3546-5563 FAX 3546-9570

放射能対策、子育て支援、築地市場問題…

切実な区民要望の実現に全力

日本共産党区議団

意見・要望をお寄せください

ホームページをご覧ください…HPアドレス <http://www.jcpchuo-kugidan.jp/>



奥村あきこ・加藤ひろし議員が一般質問

第3回定例会における日本共産党の一般質問が9月16日に行われ、奥村あきこ議員と加藤ひろし議員が初質問に立ちました。
傍聴には多くの方が足を運んでくださり、他党派の議員も「すごい人数だな」と驚いていました。



区議会議員
奥村あきこ

原発事故は天災か、人災か、区長に問う

私は、8月9日の「平和モニュメント」除幕式で佃中学校の生徒が、原爆の恐ろしさにも触れながら「福島第一原発事故は人災」と平和宣言で述べていたことを紹介し、区長に「中学生でも人災だ」という認識を持っている。区長はどう考えるのか」と問いました。

区長の答弁は「国の検証を待たなければ何とも言えない」という消極的なものでした。

「区長自身がどう考えるのか、区長の言葉で語ってほしい」という私の質問の主旨には応じてもらえず、ガツカリしました。

放射線測定器を区民にも貸出を



簡易測定器で放射線測定する奥村・おぐり議員
= 十思公園

新宿区では、すでに貸し出しが始まっている放射線測定器。中央区に現在3台ある測定器を「区民にも貸し出すべき」と求めると「新宿区を参考に研究する」と答弁しました。

その後、11月1日から小型測定器を区民に貸し出すことになりました。

【奥村あきこ議員の質問項目】

- ① 福島第一原発事故と放射能対策について
 - ② 労働スクエア跡地に建つ大規模複合施設について
 - ③ 教育問題について
- 【加藤ひろし議員の質問項目】
- ① 築地市場「移転」問題と中央区のとるべき姿勢について
 - ② 子どもの健やかな成長のため、公的保育の充実と「子ども・子育て新システム」について
 - ③ 介護保険制度と社会保障制度の充実について

危険をはらむ武道の必修化 中止も視野に入れて

来年度から中学校で武道が必修科目となり、中央区では、柔道が3校、相撲が1校で、男女必修となります。

私は「09年までの27年間に中学・高校の部活動と授業中に柔道で死亡した生徒は、全国で110人



区議会議員
加藤ひろし

区長の築地市場「移転」容認をきびしく批判

私が築地市場「移転」問題について質問したところ、区長は「都議会で移転は明確になった」「今後は、現在地再整備ではなく移転という現実在即し…区の総力を挙げていく」と答弁しました。

私は、「土壌汚染対策の科学的見地に基づく安全性の確保」と「市場関係者、消費者の合意」が豊洲新市場開設の認可に必要という農水省の見解を示し、「地元・中央区が、今こそ『食の安全・安心』を守るために『現在地再整備』

にのぼる」「日本の3倍の柔道人口があるフランスでは、医学知識も身につけなければ柔道を教えることはできない。充分な指導者育成ができないのならば、国に中止を求めるべきでは」と質問したところ、「安全への配慮をしていく」と答えるだけで必修化を通す姿勢です。命を守るため、これからも見直しを求めていきます。

をあらためて掲げるべき」と区長の姿勢をきびしく批判しました。

これからも「築地市場現在地再整備」の実現めざし、都民・区民、市場関係者の方々と協力して、全力を尽くします。

認可保育所の増設、公的保育の充実を

国と都は「保育園待機児解消」のため、認可保育所の増設ではなく、保育面積基準の緩和で、園児の「詰め込み」をはかる姿勢をとっています。

私は、保育園で生活している児童の約4分の1が、認可保育所より環境が劣悪な認証保育所に入所している事実を示し、認可保育所の増設を求めるとともに、認証保育所も含めた区内すべての保育所の保育水準の向上を求めました。

区長は「今後も、中央区の認可保育所の面積は国基準以上を守る」と答弁しました。

基金積立てばかりでなく区民要求実現に活用を



決算特別委員会委員
おぐり智恵子

2010年度決算の認定に反対

案を提出しています。

その内容・経緯も踏まえ、決算委員会が審議した結果、各会計歳入歳出決算の認定に反対しました。

本定例会で決算特別委員会が設置され、2010年度決算の審議を行いました。日本共産党区議団からは、私（おぐり）と志村たかよし議員が委員となり、予算執行について問題点を指摘するとともに、区民要求に沿った提案を行ないました。

党区議団は、09年9月に308項目の「予算要望書」を提出、10年度予算特別委員会では予算修正

反対した主な理由は、
①財政調整基金に26億円も積み立てたが、区民や中小業者のために活用すべき。
②規制緩和で大規模再開発を進め市街地再開発事業に28億7千万円の補助金を投入。

③築地市場「移転推進」になったことは区民の願いを裏切るもの。

現在地再整備に立ち戻るべき。

④旧耐震建築物の耐震改修に全力をあげるべき。

⑤3億円以上の経費をかける東京湾大華火祭は全面的に見直しを。

⑥賀詞交歓会、議員の費用弁償、区長・議長の交際費、二人の副区長など不要不急な経費を見直し経費削減策をはかるべき。

⑦保育所持機児ゼロが未達成。認可保育所を柱に対策をたてるべき。

⑧特養老人ホームの入所待機者が解消されず在宅介護への支援も不十分。

⑨区民サービスマン量が増えているのに正規職員を減らし職員の超過勤務は増えている。民間に施設の運営を丸投げする指定管理者制度導入は見直しを。

⑩文化財として高い価値を有する明石、中央両復興小学校の解体を強行したことは認めがたい。などです。

10年度決算は、決算委員会と本会議で、自民、公明、みんな、民主、絆の賛成で認定されました。

住宅・建築物の耐震化支援を求める意見書など採択

日本共産党区議団は、第三回定例会に、3件の意見書案を提案。



その内、「住宅・建築物の耐震化緊急支援事業の復活及び充実・強化に関する意見書」「介護報酬改定に関する意見書」については、各党派で意見を調整、加筆して全会派一致で可決。「コミュニティバスへの支援の拡充に関する意見書」案は見送りとなりました。

法律・生活相談会

無料

隔週火曜日午後3時～

◎予約が必要です。

事前にご連絡ください。

区議会控室
(3546) 5563

地区委員会
(3551) 6820

340項目の「来年度予算への要望書」を区長に提出



区長（右）に申し入れる尾坪委員長と党区議団

9月26日、日本共産党区議団は、中央区の来年度の予算編成にあたって「2012年度予算編成に関する重点要望書」を区長に提出し、意見交換をしました。

申し入れには、尾坪順党地区委員長、おぐり・志村・加藤・奥村各区議が参加しまし

た。区側は区長をはじめ、二人の副区長や企画部長、総務部長、教育長などが出席しました。

切実な区民要望をまとめ

「要望書」は、東日本震災と原発事故を受け、放射能対策や防災対策、また区民のみなさんから寄せられている切実な要求や党区議団が毎年実施している「区民アンケート」の結果をふまえ、福祉・中小企業対策等を政策的提案として、340項目にまとめたものです。

学校給食の食材についての放射線測定について、区長は「データが大事。しっかりとやっていく」と答えました。

成や助費購入ラ告知緊急 など整備ホーム老人特養小規模

賛成に算正補



副委員長
志村たかよし

第三回定例会には補正予算が提出されました。

今回の補正は、緊急告知

ラジオ購入費の9割助成（区民は1割負担）や施設における太陽光発電の設備、障害者日中活動系サービス施設運営費助成、そして、十思スクエアを活用した小規模特養老人ホーム

△等複合施設の整備を進めるためのものです。私は6月の本会議で、東日本大震災の時、FMラジオが役に立ったことを示し、区としてFMラジオを活用することを求めています。また、小規模特養ホームの整備は、党区議団が早期の実現を繰り返し求めてきたものです。そのため、日本共産党は今回の補正予算に賛成しました。

日本共産党区議団は、第三回定例会に、3件の意見書案を提案。